

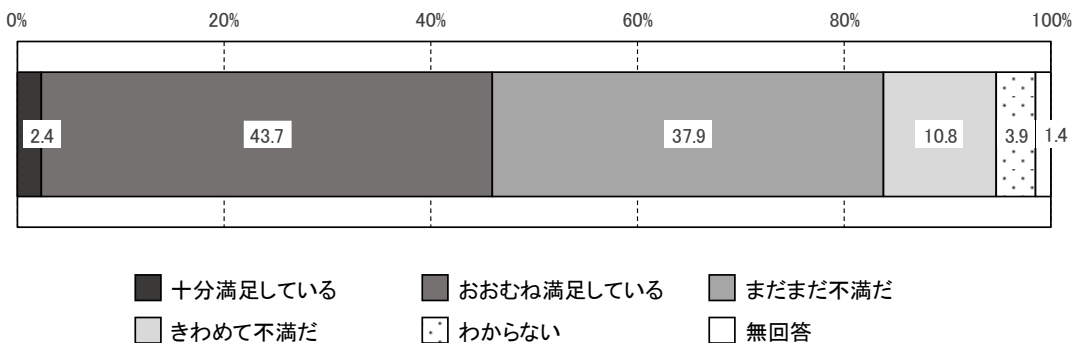
## 問2 暮らしの満足度

問2 あなたは、現在の暮らし全般（生活環境など）についてどう思いますか。（1つだけ）

全体（図2-1）で見ると、「おおむね満足している」が43.7%と最も高く、次いで「まだまだ不満だ」（37.9%）、「きわめて不満だ」（10.8%）の順となっている。

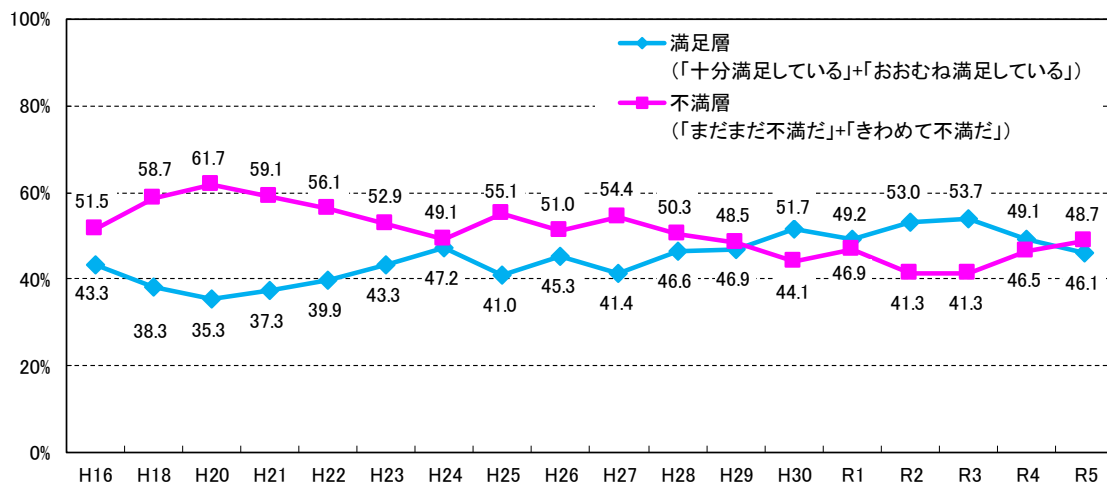
図2-1 暮らしの満足度

回答者数(n = 1,758)



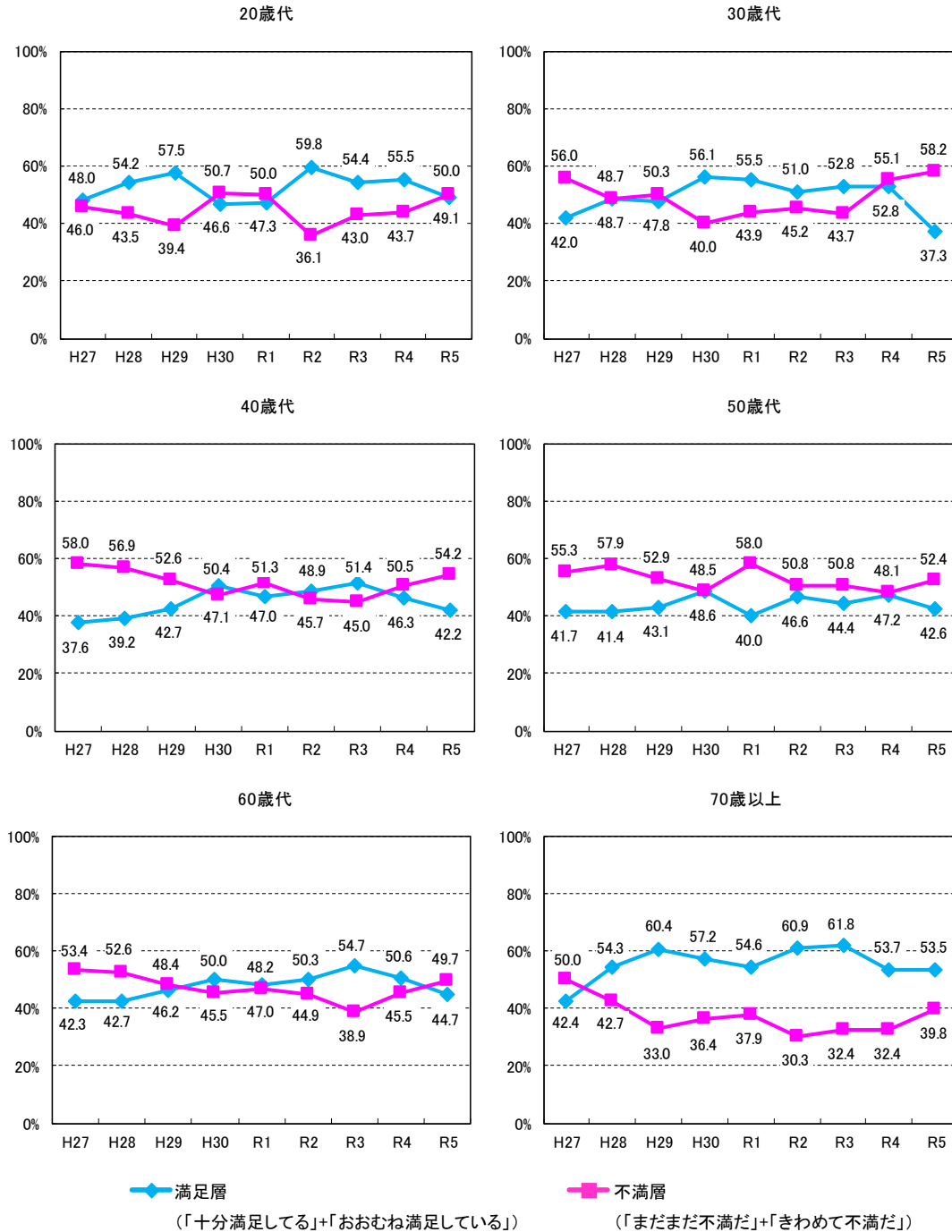
経年変化（図2-2）で見ると、平成30年以降、「満足層」（「十分満足している」+「おおむね満足している」）が「不満層」（「まだまだ不満だ」+「きわめて不満だ」）を上回っていたが、令和5年では、前年に比べて「満足層」が3.0ポイント減少、「不満層」が2.2ポイント増加し、「不満層」が「満足層」を上回った。

図2-2【経年変化】暮らしの満足度



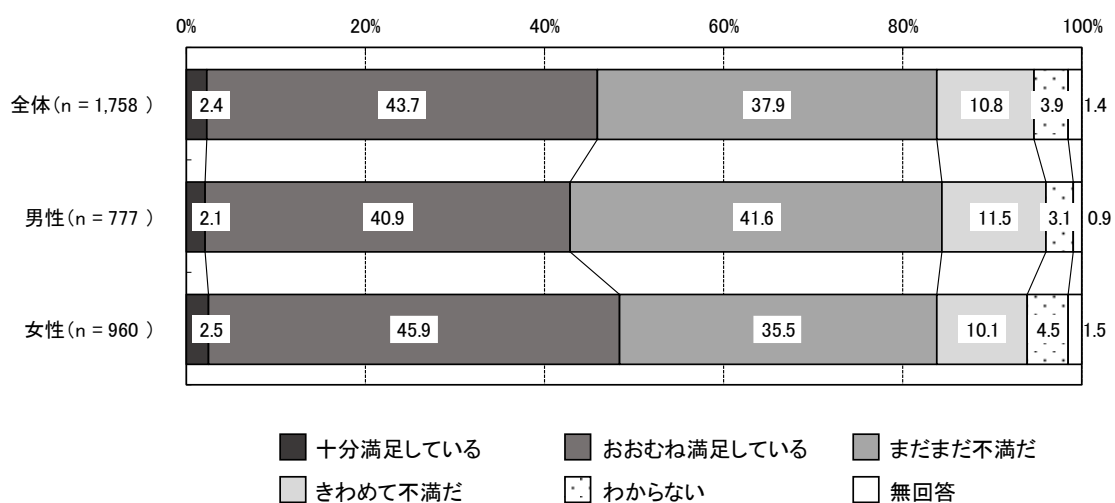
年代別の経年変化（図 2-3）でみると、令和 5 年はいずれの年代においても「不満層」が増加し、20 歳代から 60 歳代は「不満層」が「満足層」を上回っている。一方、70 歳以上では、平成 28 年より変わらず、「満足層」が「不満層」を上回っている。また、30 歳代では令和 4 年より「満足層」が 15.5 ポイント減少している。

図 2-3 【経年変化(年代別)】 暮らしの満足度



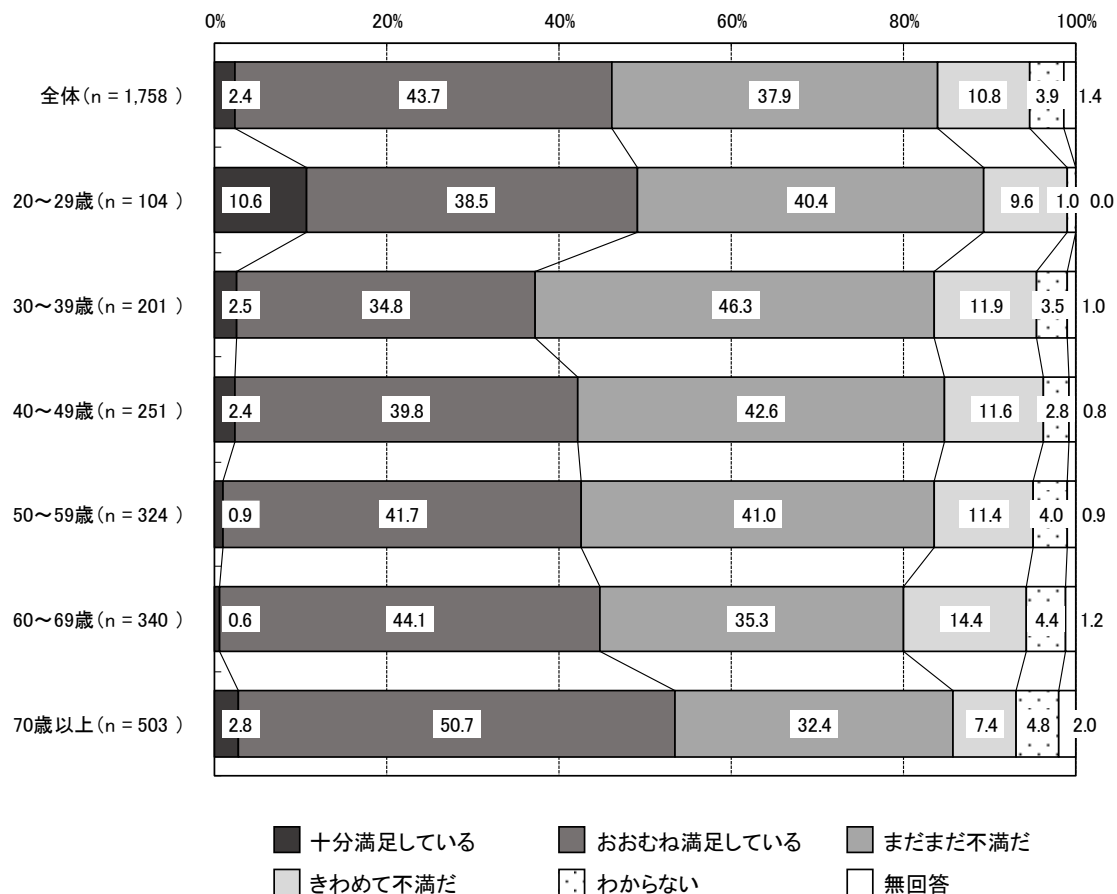
性別（図 2-4）で見ると、男性では「まだまだ不満だ」が最も高くなっており、女性では「おおむね満足している」が最も高くなっている。

図 2-4 【性別】くらしの満足度



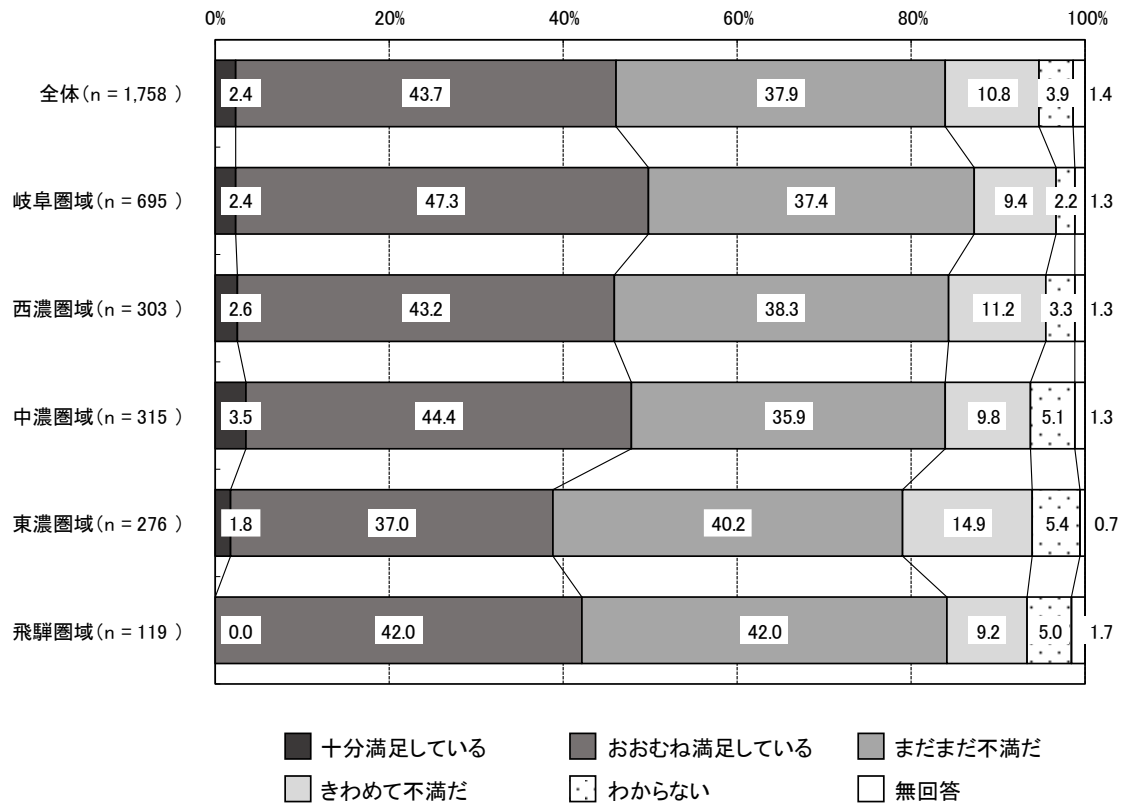
年代別（図 2-5）で見ると、20 歳代、30 歳代、40 歳代では「まだまだ不満だ」が最も高くなっており、50 歳代、60 歳代、70 歳以上では「おおむね満足している」が最も高くなっている。

図 2-5 【年代別】くらしの満足度



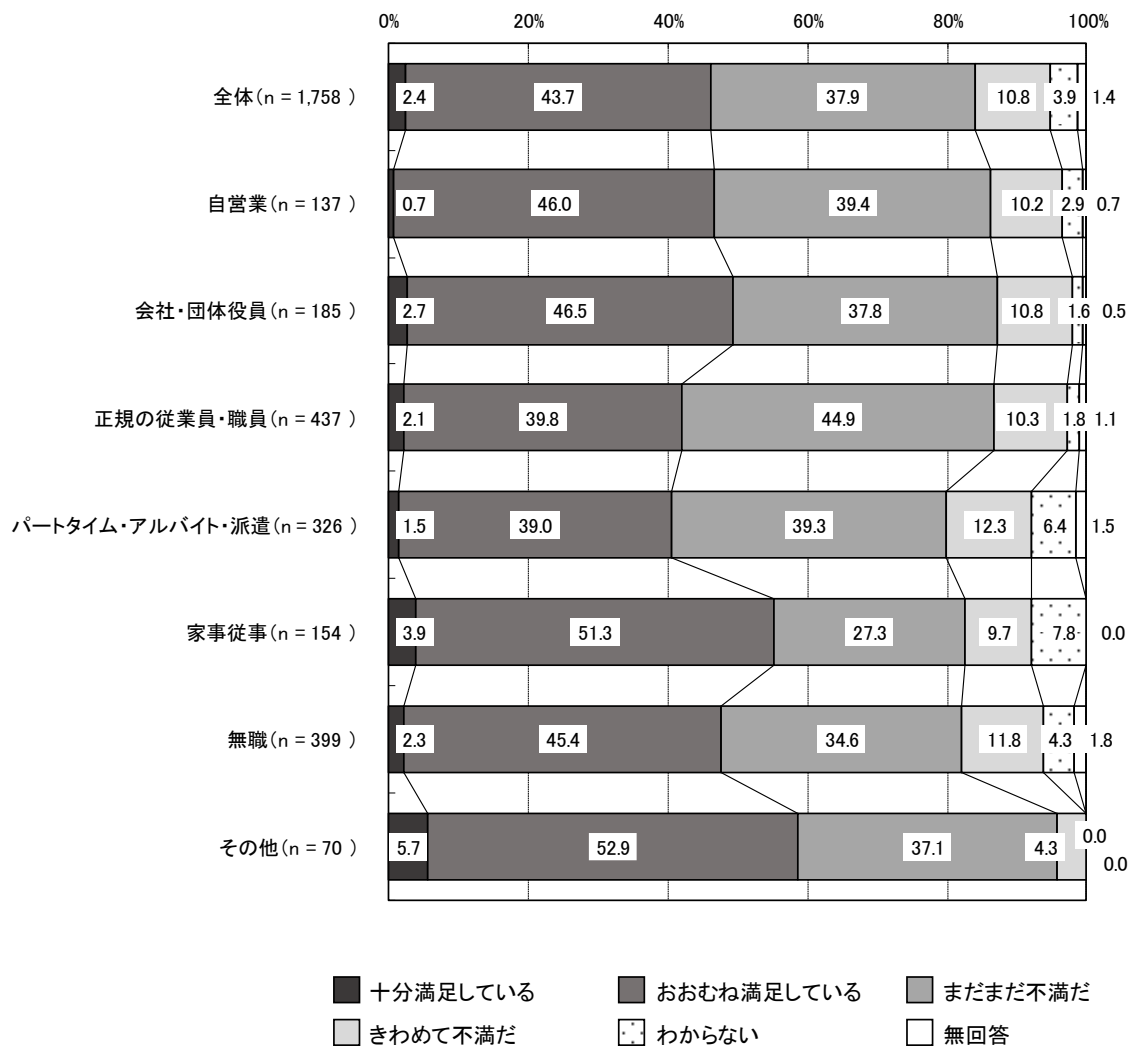
居住圏域別（図 2-6）で見ると、岐阜圏域、西濃圏域、中濃圏域では「おおむね満足している」が最も高くなっており、東濃圏域では「まだまだ不満だ」が最も高くなっている。また、飛騨圏域では「おおむね満足している」「まだまだ不満だ」がともに 42.0%となっている。

図 2-6 【居住圏域別】 暮らしの満足度



職業別（図 2-7）で見ると、自営業、会社・団体役員、家事従事、無職、その他では「おおむね満足している」が最も高く、正規の従業員・職員、パートタイム・アルバイト・派遣では「まだまだ不満だ」が最も高くなっている。

図 2-7 【職業別】 暮らしの満足度



※ その他には、自由業、学生を含む。